



☐ 孔子のことば

人がふみおこなうべき道

子曰わく、朝あしたに道みちを聞きかば、夕ゆうべに死しすとも可よなり。

(訳)先生がいわれた。「その朝に真実の道をきくことができたなら、夕暮に死んでも本望なのに」

(里仁篇)

克己復礼

顔淵がんえん、仁にを問とう。子曰わく、己おのれに克かちて礼れいに復かえるを仁にと為なす。一日己れに克ちて礼に復れば天下仁に帰す。仁を為すは己れに由る、而して人に由らんや。

(訳)顔淵が仁の徳についておたずねした。先生がこたえられた。

「自己にうちかって礼の規則にたちかえることが仁ということである。一日でも自己にうちかって礼の規則にたちかえることができたなら、天下中の人がこの仁徳になびき集まるであろう。仁徳の実践は自己の力がたよりで、他人の力にたよってできることではけっしてないのだ」

(顔淵篇)

徳治政治

子曰わく、これを導せくに政せいを以てし、これを齊ととのうるに刑を以てすれば、民免れて恥なし。これを導くに徳を以てし、これを齊うるに礼を以てすれば、恥ありて且つ格まぬがし。

(訳)先生がいわれた。

「法令によって指導し、刑罰によって規制すると、人民は刑罰にさえかからねば、なにをしようと恥と思わない。道徳によって指導し、礼教によって規制すると、人民は恥をかいてはいけな^かいとして、自然に君主になつき服従する」

(為政篇)

修己治人

子路、君子を問う、子曰わく、己を脩めて以て敬す。曰わく、斯くの如きのみか。
曰わく、己を脩めて以て百姓を安んず。曰く、己を脩めて以て百姓を安んずるは、堯
舜もそれ猶諸を病めり。

(訳)子路が君子の心得をおたずねした。先生がいわれた。

「自分の行いを正しくして、慎み深くすることだ」

子路はまたおたずねした。

「それだけのことですか」

先生がいわれた。

「自分の行いを正しくして、仲間の君子の人々を安心させること」

子路はまたおたずねした。

「それだけのことですか」

先生はいわれた。

「自分の行いを正しくして、百姓つまり人民一般を安心させる。自分の行いを正しくして、百姓を安心させることは、堯・舜のような聖人でも、実現がむつかしかったのだ」

(憲問篇)

『論語』より